



2025 年 D1Grand Prix

Rd.5&6 EBISU

参戦報告書



SHIBATA
RACING TEAM

採点資料

D1 独自の機会採点システム DOSS が採点の基準

発足初年度から審判員による主観採点を採用してきたD1 グランプリシリーズだったが、より公平で公正な採点方法を求めて機械採点システムの開発を進めていた。そして長い開発期間と試験期間を経て 2013 年からシリーズ戦へと導入されたのが、D1 独自の機械採点システムである『D1 オリジナルスコアリングシステム（通称:DOSS= ドス』だ。DOSS では、走行マシンの車速や角度、そして角度の安定性や振り返しの鋭さなどを数値化して得点化。わずかな車速変化や角度の乱れが特典に影響することもあり、これまでよりも繊細かつスムーズなドライビングが要求されるようになった。そして、DOSS の得点化プログラムは最適化されつつ年々進化していき、2019 年からは追走にも導入されることになった。先行車は単走とおなじようにハイレベルな走りが要求され、後追いもただ接近すればいいだけではなく、DOSS の得点が出せる走りが要求される。追走でも DOSS が導入され、ここがさらに洗練されていくことで、D1 グランプリシリーズは新たなステージへと進化する。

単走 指定ゾーンの追加で視覚的に走りの良し悪しが判別可能に

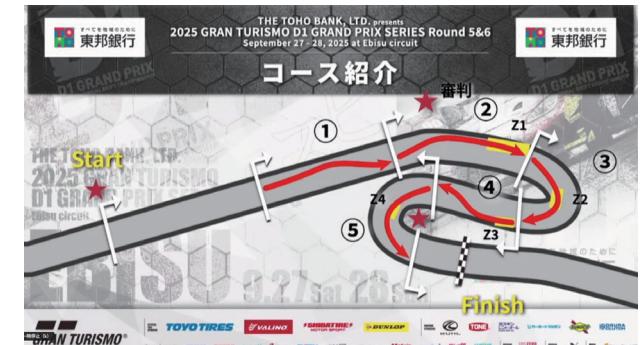
単走での採点は、競技区間を振り出しや旋回、振替しといった 4~5 つのセクターに分割し、それぞれの重要度によって第 1 セクターは 30%、第 2 セクターは 20% というように配分が決定され、すべてのセクターの合計が特典となる。

また、2018 年からはコース内であればどのようなラインを通過しても原点されることはなかったが、2019 年からはコース上に数カ所の指定ゾーンが設けられ、ここを通過しなければいけなくなった。

つまり、理想的なラインを通過することが高得点を出すことにつながるのはこれまで通りなもの、指定ゾーンを追加することで視覚的に良し悪しがわかりやすくなった。なお、指定ゾーンを通過できなかった場合の原点はマイナス 1 点 ~3 点。

ほかにも、振り出し時の 2 度降りやドリフトアンダーはマイナス 5 点、コース外走行は 1 輪 ~2 輪 の場合はマイナス 2 点で、

3 輪 ~4 輪 の場合はマイナス 5 点という原点。J1 ~ J3 区間での円滑さを欠く走行やコース上の設置物への接触なども減点の対象となる。選手たちにとってはこれまで以上に繊細なマシンコントロールが要求されるようになった。



DOSS の導入で後追いはよりレベルの高い走りが求められる

追走では、単走とおなじく車速や角度に安定度といった要素が求められる先行車に対し、後追い車はどれだけ合わせつつ接近できるかが求められる。

単走とおなじ要素が評価項目となるため、これまで先行車両には DOSS で算出された得点がベースとなっていたが、2019 年シリーズからは後追いにも DOSS の得点がベースとして採用され、これに接近度といった項目を審判員が主観で判断した得点を合計し、それが後追い車の総合得点となる方式となった。

後追い車は、車速や角度に安定度といった要素を揃えつつ接近しなければいけないということは変わらないものの、DOSS が採用されたことによってその基準がよりシビアに。角度のないまま接近すると、接近ポイントは与えられるものの、DOSS 得点が低くなってしまう。DOSS 得点を狙って相手から離れて自分のドリフトをしても、接近加点が取れないので勝てない、となる仕組みだ。

後追い車の接近ポイント（コースにより 6~12 点）は、先行車との距離に応じてセクターごとに付与される。また、後追い車が先行車から離されすぎて接近ポイントがまったく得られなかつた場合はノーグッドチャレンジ（先行者に接近できていない状態）と判断されることがあり、その減点はマイナス 2 点となるため、つねに攻めることも要求されるようになったのだ。

参戦車両

車両 : GR86

エンジン : VR38 4100cc 1300hp

タービン : GT75100BB

コンピューター : LINK

ミッショナル : ALBINS

タイヤ : SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)

SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR20(Rear)

ホイール : SHIBAHHEEL 18 インチ off +25(Front)

SHIBAHHEEL 20 インチ off +12(Rear)

エアロ : SHIBATA

足回り : 車高調 JIC ナックル WISEFAB

キャリパー ENDLESS



ドライバー

大廣切蕎

1996年3月22日生(29歳)

神奈川県出身

身長 : 165cm

参戦レース : D1GP

2025年D1GP (Rd.5&6終了時点)

ドライバーズランキング 1位

単走シリーズランキング 2位

実績

2018年9月 ドリフトキングダム Rd.6 チャレンジエキスパートクラス 準優勝 D1LIGHTS 出場権獲得

2019年3月 MSC チャレンジ Rd.2 エキスパートクラス 優勝 FORMULA DRIFT JAPAN 出場権獲得

2019年D1LIGHTS 年間ランキング 13位 D1GP 出場権獲得

2020年D1GP ドライバーズランキング 18位 単走シリーズランキング 13位 シリーズ新人賞受賞

2021年D1GP ドライバーズランキング 14位 単走シリーズランキング 9位 第7戦 単走優勝

2022年D1GP ドライバーズランキング 7位 単走シリーズランキング 2位

2023年D1GP ドライバーズランキング 5位 単走シリーズランキング 2位

2024年D1GP ドライバーズランキング 4位 単走シリーズランキング 2位



No.31 蕎麦切 広大

練習走行

昨年に比べてゾーンの位置の変更があったりコース幅の使い方が変わったエビス西ラウンド。練習走行で昨年とのイメージ差の修正をしていきます。

DOSS 点も 97 点後半が出てたのでまずまず仕上がりでした



Rd.5 9/27(土) 天候 晴

単走 1 本目

いつも通りに 1 本目は必ず予選を通過できる点数を出して 2 本目は更に攻めて点数を出すと言う作戦で走りました。

その作戦通りに走ることが出来て
単走優勝する事ができました

31 K. SOBAGIRI				RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	10
			29.58	
			19.21	
			19.42	
			9.85	
			19.41	
PENALTY				
147.98 km/h				
97.5				

31 K. SOBAGIRI				RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	1
			29.99	
			19.40	
			19.84	
			10.02	
			19.52	
PENALTY				
146.85 km/h				
98.8				

追走 Best 16 川畠真人選手

1 本目は先行ポジションで走って川畠選手には少しアドバンテージを取られました。2 本目はそのアドバンテージを取り返すのは勿論のことしっかりと後追いポイントを取る事を意識して走りました結果後追いでも近い距離で走れたので勝利する事ができました。



追走 Best 8 余哲也選手

1 本目先行ポジションの時に余選手がタイヤがビード落ちてしまい 1 本目で勝敗が決まり勝利する事ができました。



追走 Best 4 中村直樹選手

1 本目で後追いの中村選手がアドバンテージを取って行ったので 2 本目の後追いでは気合を入れて取り返しに行きましたが先行を走っていた中村選手がマシントラブルにより 1 個目のインクリップでハーフスピンしたため勝利する事が出来ました



追走 決勝 藤野秀之選手

1 本目の時に藤野選手が素晴らしい後追いをしたため大きくアドバンテージを取られましたが 2 本目でそれ以上に取り返そうと奮闘しましたが点差をひっくり返す事は叶わず 2 位となりました。



昨年でも良い成績だったエビスラウンドでしたが意識しない様にする事と今ジーンズの奥伊吹、筑波戦を経て敗退してしまった原因を自分なりに研究して挑んだラウンドでした。優勝できず非常に悔しい思いは強かったです。自分のコントロールの仕方を意識して得る物が非常に多いラウンドとなりました。Rd6 は優勝する為にしっかりと走りを分析して Rd6 に備えました。応援して頂きありがとうございました。

No.31 蕎麦切 広大

練習走行

Rd5 からの流れで単走は悪くないのでリズムを再確認して単走に望みます。



Rd.6 9/28(日) 天候 晴

単走 1本目

作戦は rd5 通りで 1 本目に予選通過する点数を出して 2 本目で点数を上げるという作戦でした。1 本目はまずまずの点数を出せて 2 本目をさらに攻めて行きましたが点数を大きく上げることができず予選は 3 位通過となりました

31 K. SOBAGIRI				RANK 5
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	
			29.65	
			19.24	
			19.31	
			9.86	
			18.95	
PENALTY				
144.94 km/h				
97.0				

31 K. SOBAGIRI				RANK 3
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	
			29.86	
			19.53	
			19.30	
			9.85	
			19.40	
PENALTY				
146.87 km/h				
97.9				



追走 Best 16 星涼樹選手

星選手とは初対戦になります。1 本目では先行ポジションでしたが星選手がスタートを頑張りすぎて進路妨害となり大きくアドバンテージ 2 本目は星選手のマシンが途中でトラブルってしまい勝利することができました



追走 Best 8 藤野秀之選手

Rd5 では負けてしまった藤野選手との対戦です 1 本目ではアドバンテージ取られましたが 2 本目でもミスはありましたがなんとか勝利する事ができました。



追走 Best 4 日比野哲也選手

同じチームの日比野選手との対戦でしたのでお互いに全力で戦おうという話をして走行しました。

二台とも良い走りをする事が出来て DOSS 点数の差で勝利する事が出来ました。



追走 決勝 中村直樹選手

1 本目は後追いスタートでしたのでフルマーク取るつもりで全力で行きましたがインクリップ手前の減速する所で少しリズムを崩してしまい離れてしましましたが後半は入り直すことに成功しました 2 本目は 120 パーセントの気合いで走りましたその結果中村選手がリズムを崩して良い後追いをする事ができず、結果、優勝する事が出来ました。



Rd.5 での走りを研究して挑んだ Rd6 でしたが自分のコントロール含めて力の引き出し方をうまくコントロール出来たラウンドとなりました。そして追走でも自分の中の課題の部分を積極的にチャレンジする事が出来てとても大きく成長できるラウンドになりました。そして今大会でもとても沢山の声援がチームにとって僕にとってもとっても大きな力となりました。応援をして頂きありがとうございました。シリーズランキングも現状は 1 位になれますので、このポジションのまま点差を付けて行けるように残りのラウンドもチーム一丸となって全力で走って行きますのでよろしくお願いします。

参戦車両

車両 : GR86

エンジン : 2JZ 3400cc 940hp

タービン : HKS GT2

コンピューター : LINK

ミッション : ALBINS

タイヤ : SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)

SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR19(Rear)

ホイール : SHIBAHWEEL 18 インチ off +25(Front)

SHIBAHWEEL 19 インチ off +12(Rear)

エアロ : SHIBATA

足回り : 車高調 JIC ナックル WISEFAB

キャリパー ENDLESS



ドライバー

日比野哲也

1974年4月10日生(51歳)

愛知県出身

身長 : 181cm

参戦レース : D1GP、Formula Drift Japan

2025年D1GP (Rd.5&6 終了時点)

ドライバーズランキング 14位

単走シリーズランキング 17位



実績

2018年D1CHINA 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズチャンピオン

2019年DCGP(中国) 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズ2位

RDS GP(ロシア) 総合シリーズ3位

2020年D1GP ドライバーズランキング4位 単走シリーズランキング5位

2021年Formula Drift Japan シリーズランキング3位

2023年D1GP ドライバーズランキング7位 単走シリーズランキング11位

2024年D1GP ドライバーズランキング3位 単走シリーズランキング4位

No.18 日比野 哲也

【前々日練習日】 晴れ

パワステの修理をしてテストして良くなりましたが、数周走ると不調になりました。ギア比は去年とは違うギア比で走りました。(今年 3.9)(去年 3.1) しかし…何回も同じ症状になり、完璧に直らない。毎回パワステポンプの掃除をしながら原因を探ってましたが、直らず練習が終了。

【公式練習日】 晴れ

パワステが重いままで走る事になりました。ハンドルの修正の時に重くなるので、重くならない乗り方を探す練習をしました。3セクターの角度修正・5セクターの角度修正の時に重くなるので、良いラインで修正無しで走る練習をしました。練習後には、パワステ関係を新品に交換していただきました。3本目の練習ができず、ファイナルギアを変更しました。(3.9⇒3.4)



Rd.5 9/27(土) 天候 晴

朝から晴天で、めちゃめちゃ暑い日でした。調整して初めての走行でしたが、ハンドルの症状は完治してました。ハンドルが軽くなりすぎて、違和感がありました。DOSSでは97.5点が出てました。

(全体の中では、10番目のスコアでまあまあ良かったです。)

単走本番一本目では進入から抑えて走り、97.57。

しかし、一本目の走行後にパワステが重くなりました。

単走本番二本目では攻めましたが、93.20。

11位で、予選通過できました。

18 T. HIBINO			RANK 4
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point
			29.63
			18.91
			19.47
			9.89
			19.67
PENALTY			
143.24 km/h			
97.6			

18 T. HIBINO			RANK 4
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point
Z1			29.76
Z2			19.43
S3			19.21
			9.99
			19.81
PENALTY			
148.21 km/h			
93.2			

追走 Best 16 藤野秀之選手

後追いからスタート。進入から少し離れましたが、その後はしっかり追走して 97.4:105.1

でアドバンテージ取りました。先行では、良い走りができましたが 105.2:97.2。

合計 202.6:202.3 で負けました。



単走 11位 追走 12位



No.18 日比野 哲也

【練習走行】

R5 と同じく、暑い日でした。

ハンドルが固まる症状は無くなりませんが、DOSS では 98.75 点出てました。



Rd.6 9/28(日) 天候 晴

単走本番一本目で、角度が薄くなりゾーン減点があり失敗 95.5。
単走本番二本目では、しっかり角度を付けてライン減点無しで 97.6。
7 位で予選通過できました。

ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	
			29.92	
Z2			18.56	
			19.22	
			10.07	
			19.68	
PENALTY				

141.94 km/h

95.5

ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	
			29.40	
			19.24	
			19.30	
			9.82	
			19.85	
PENALTY				

139.3 km/h

97.6

追走 Best 16 中村龍選手

先行からスタート。
進入でオーバーランしてゾーン外しましたが、その後はミス無く走り 93.6: 95.7 でアドバンテージ取られました。
後追いでは、良い走りができて 101.7: 94.1。
合計 195.3: 193.1 で勝ちました。



追走 Best 8 糸哲也選手

後追いからスタートで、ストレートは離れましたが 3 セクターから捕まえて良い距離で走りきり 91.2: 101.3
先行からスタートではミス無く走れて、97.3: 97.9。
合計 188.5: 199.2 で勝ちました。



追走 Best 4 蕎麦切広大選手

先行からスタートで、3 セクターと 5 セクターのゾーン外してしまい 95.6: 108.1
後追いからスタートではミス無く走れましたが、103.2: 96.0。
合計 198.8: 204.1 で敗退しました。



単走 7 位

追走 4 位

ドライバーズランキング 14 位

単走ランキング 17 位

チームシリーズランキング 3 位

次回のオートポリス戦までには、パワステトラブルをしっかりと修理して、単走・追走の両方で優勝目指して頑張りたいと思います。

2025年D1グランプリシリーズランキング

2025年ドライバーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team
1	31	斎藤 広大	SHIBATA RACING TEAM
2	66	藤野 秀之	Team TOYO TIRES DRIFT 1
3	70	横井 昌志	TEAM D-MAX RACING
4	79	目桑 宏次郎	VALINO TEAM G-Meister
5	90	山中 真生	ウエインズトヨタ神奈川 × 倭だっ！ レーシング
6	23	村上 満	Repair Create × Result Japan
7	88	川畠 真人	Team TOYO TIRES DRIFT 1
8	77	松山 北斗	Team TOYO TIRES DRIFT 2
9	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-STYLE
10	76	中村 龍	TEAM MORI
11	80	田野 結希	Team TOYO TIRES DRIFT 2
12	2	田中 香己	SEIMI STYLE SHIBATIRE DRIFT
13	33	石川 隼也	広島トヨタ team DROO-P
14	18	日比野 哲也	SHIBATA RACING TEAM
15	81	和田 賢志郎	TEAM D-MAX RACING
16	89	Lattapon Keawchin(ポップ)	NEXZTER drive to drift academy
17	8	福岡 拓也	VEHIQL RACING × VALINO
18	78	上野 高広	TEAM VERTEX
19	87	齋藤 太吾	FAT FIVE RACING
	87	斎藤 太吾	FAT FIVE RACING

D1事務局 イベント報告

正式呼称：2025年JAF日本ドリフト選手権 2025 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Round 5 & 6

開催場所：福島県・エビスサーキット 西コース

主催：株式会社サンプロス／株式会社エビスサーキット

競技方式：ドリフト競技

公認：一般社団法人・日本自動車連盟（JAF）

参加者数：D1GP 総エントリー41台 / 出走38台

天候：27日(Rd.5)；ドライ 28日 (Rd.6) ；ドライ

延動員数：合計 4,207名（3日間合計、関係者含む）

次戦は、第7戦 10月25日（土）、第8戦 26日（日） 大分県・オートポリス国際レーシングコース

2025年ドライバーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team
1	31	斎藤 広大	SHIBATA RACING TEAM
2	66	藤野 秀之	Team TOYO TIRES DRIFT 1
3	70	横井 昌志	TEAM D-MAX RACING
4	79	目桑 宏次郎	VALINO TEAM G-Meister
5	90	山中 真生	ウエインズトヨタ神奈川 × 倭だっ！ レーシング
6	23	村上 満	Repair Create × Result Japan
7	88	川畠 真人	Team TOYO TIRES DRIFT 1
8	77	松山 北斗	Team TOYO TIRES DRIFT 2
9	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-STYLE
10	76	中村 龍	TEAM MORI
11	80	田野 結希	Team TOYO TIRES DRIFT 2
12	2	田中 香己	SEIMI STYLE SHIBATIRE DRIFT
13	33	石川 隼也	広島トヨタ team DROO-P
14	18	日比野 哲也	SHIBATA RACING TEAM
15	81	和田 賢志郎	TEAM D-MAX RACING
16	89	Lattapon Keawchin(ポップ)	NEXZTER drive to drift academy
17	8	福岡 拓也	VEHIQL RACING × VALINO
18	78	上野 高広	TEAM VERTEX
19	87	齋藤 太吾	FAT FIVE RACING
20	9	斎藤 太吾	TEAM BUZZBREAK DRIFT
	32	多田 康治	CUSCO Racing

2025年チームシリーズランキング

Rank.	Team
1	Team TOYO TIRES DRIFT 1
2	VALINO TEAM G-Meister
3	SHIBATA RACING TEAM
4	TEAM D-MAX RACING
5	Team TOYO TIRES DRIFT 2
6	TEAM VALINO × N-STYLE
7	ウエインズトヨタ神奈川 × 倭だっ！ レーシング
8	Repair Create × Result Japan
9	TEAM MORI
10	広島トヨタ team DROO-P
11	TEAM VERTEX
12	NEXZTER drive to drift academy
13	SEIMI STYLE SHIBATIRE DRIFT
14	VEHIQL RACING × VALINO
15	FAT FIVE RACING
16	CUSCO Racing
17	TEAM BUZZBREAK DRIFT